

法吉小学校だより



法吉っ子

令和7年11月 文責 校長：伊藤英俊

法吉小のホームページも

どうぞご覧ください⇒



ほん気で考える子・つよい心をもった子・きょうも元気な子・このまちを大切にする子

◆修学旅行での学びの姿

秋晴れのもと、11月6、7日と、6年生が広島・宮島・岡山方面への修学旅行に行ってまいりました。広島平和記念資料館での真剣な学び、宮島での歴史探訪、工場見学での新たな発見、そしてみろくの里での楽しいひととき。どの訪問先でも、6年生の素晴らしい姿を見ることができました。

特に感心したのは、見学先でのあいさつや返事がはっきりとしていたことです。行く先々で「自分たちで」その場にふさわしい、よい雰囲気をつくり出していました。

また、時間を守ろうと意識し、仲間と声をかけ合いながら、常に全体のことを考えて行動できる姿は、さすが最高学年だと頼もしく感じました。

修学旅行で発揮できた「集団として高まる力」。この素晴らしい力を、ぜひ今後の学校生活でも生かしてください。卒業までの日々、皆さん一人一人が「よい学校を創る」一員として、法吉小学校をさらに素敵な場所にしてくれることを心から願っています。



◆失敗も学び！

今年の教育目標の一つに「やってみよう」があります。この言葉には、失敗を恐れずに挑戦しようという意図が込められています。この「失敗」の大切さについて熱く語っておられるのが、中学生の道徳の教科書にも取り上げられている、植松電機の植松努社長です。小さな企業でありながら大学と協力してロケット開発に取り組み、「教育とはこどもたちに安全に失敗をさせることだ」とおっしゃっています。

実際、人は失敗を通して多くのことを学びます。何事も最初からうまくいくわけではありません。思ったようにならないことに直面し、その中で悩み、試行錯誤を繰り返すことで、突破口が見つかったりできるようになったりする過程は、学びには欠かせないものです。

ところが、最近は、こどもが失敗ないように、あるいは嫌な思いをしないようにと、失敗を前もって防ぎすぎている面があるように感じます。植松社長は、次のように警鐘を鳴らしておられます。「失敗をさせないのは簡単です。①何もさせない⇒何もできなくなります。②過去に成功したことだけさせる⇒成長できなくなります。③誰かの指示通りにさせる⇒思考力を失います。失敗を禁ずると、何もできなくなり、成長できなくなり、考えられなくなります」と。

では、私たちはどうすればよいのでしょうか。それは、「失敗したらどうするの！」と問うのではなく、「どんな失敗が考えられるかな？もしも失敗したときには、次はどうしようかと一緒に考えればいいのだよ。」と、勇気づけてあげることです。

法吉小では、「やってみて、失敗も成長の糧として乗り越えていく」そんなこどもを育てていきたいと考えています。



◆強い心と体を育てるロードレース

先日行われましたロードレース大会では、こどもたち一人ひとりが、練習の成果を存分に発揮し、力強い走りを見せてくれました。音楽会が終わってから、体育の時間に一生懸命練習に励んできたこどもたち。当日は、自分の目標に向かって、苦しくなっても歯を食いしばり、最後まで走り抜こうとする立派な姿に胸が熱くなりました。このロードレースを通して、こどもたちは3つの力を身につけてくれたと感じています。

1つ目は、「強いからだと心」です。決められた長い距離を、自分の力で最後まで走り抜いた経験は、丈夫な体だけでなく、「苦しくても諦めない心」「やり遂げる力」を確かに育ててくれました。

2つ目は、「やったぞ！という、うれしい気持ち」です。練習でタイムが縮んだこと、そして本番で完走し、目標を達成した時の達成感、何物にも代えがたい喜びとなったことでしょう。この「できた！」という確かな手応えが、こどもたちの大きな自信につながったと信じています。

3つ目は、「友だちとお互いをすごいと思う気持ち」です。苦しいのは自分だけではありません。一緒に走る友だちのがんばりを認め、自然と「がんばれ！」と声援を送る姿。そして、自分も友だちから応援されることで、互いを尊敬し、支え合う大切な心を育むことができました。

沿道やゴール地点でいただいた、皆様からの温かいご声援やサポートが、こどもたちの背中を押し、最後まで走り抜くための何よりのエネルギーとなりました。心より感謝申し上げます。

このロードレース大会で得た自信と経験を糧に、こどもたちがこれから更に大きく成長してくれることを楽しみにしています。



◆学校運営協議会

去る11月12日（水）、今年度第2回となる学校運営協議会を開催いたしました。委員の皆様にはご多忙の中ご参集いただき、誠にありがとうございました。

当日はまず、こどもたちの学習の様子をご覧いただくため、全学級の授業を観ていただきました。児童が真剣な眼差しで課題に取り組む姿や、仲間と協力して学びを深めようとする意欲的な様子に、委員の皆様も熱心に見入っておられました。

視察後、委員の皆様からは「こどもたちの学びに向かう姿勢が素晴らしい」「落ち着いた姿で、音楽会でもその様子が表れていた」など、温かく、励みになるお言葉を多数頂戴しました。

その後の協議会では、児童の生活の様子（挨拶、登下校、メディア利用等）について報告し、意見交換を行いました。本校の強みや課題について、活発な議論が交わされました。

委員の皆様からは、地域住民の視点や専門的な知見から、家庭学習の充実や地域との連携強化など、今後に向けた多くの貴重なご提言をいただきました。今回いただきましたご意見を真摯に受け止め、今後の教育活動の更なる充実に生かしてまいります。



ほうきどり

お礼 校庭芝生の管理、登下校の見守り、読み聞かせ、球根植え、ベルマーク、陶芸等、皆様からたくさんのご支援・ご協力をいただいております。ありがとうございます。

電話：0852-21-4354 FAX：0852-21-4359 Mail:hokki-e@city.matsue.ed.jp